

みずほCustomer Desk Report 2018/05/28 号(As of 2018/05/25)

国際為替部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	109.58
TKY 9:00AM	109.33	1.1722	128.17	1.3383	0.7570
SYD-NY High	109.74	1.1733	128.53	1.3386	0.7590
SYD-NY Low	109.11	1.1646	127.17	1.3293	0.7543
NY 5:00 PM	109.35	1.1652	127.49	1.3295	0.7549
NY DOW	24,753.09	▲ 58.67	日本2年債	-0.1400	0.00bp
NASDAQ	7,433.85	9.43	日本10年債	0.0400	0.00bp
S&P	2,721.33	▲ 6.43	米国2年債	2.4778	▲ 3.23bp
日経平均	22,450.79	13.78	米国5年債	2.7627	▲ 5.06bp
TOPIX	1,771.70	▲ 3.95	米国10年債	2.9304	▲ 4.57bp
シカゴ日経先物	22,360	40.00	独10年債	0.4035	▲ 6.40bp
ロンドンFT	7,730.28	13.54	英10年債	1.3200	▲ 7.95bp
DAX	12,938.01	82.92	豪10年債	2.7855	▲ 1.10bp
ハンセン指数	30,588.04	▲ 172.37	USDJPY 1M Vol	7.08	▲ 0.33%
上海総合	3,141.30	▲ 13.35	USDJPY 3M Vol	7.31	▲ 0.24%
NY金	1,303.70	▲ 0.70	USDJPY 6M Vol	7.90	▲ 0.08%
WTI	67.88	▲ 2.83	USDJPY 1M 25RR	-0.98	Yen Call Over
CRB指数	203.34	▲ 2.32	EURJPY 3M Vol	8.55	0.13%
ドルインデックス	94.19	0.43	EURJPY 6M Vol	8.75	0.10%

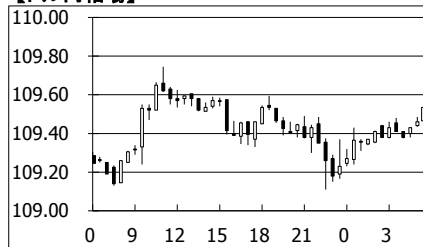
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
5月25日	17:00	独 IFO企業景況感指数	5月 102.2	102.0
	17:30	英 GDP(前期比・前年比)・改定値	1Q 0.1%/1.2%	0.1%/1.2%
	21:30	米 耐久財受注(前月比)	4月 -1.7%	-1.3%
	23:00	米 ミシガン大学消費者態度指数	5月 98.0	98.8
5月26日	00:45	米 ポスティブ・アトランタ連銀総裁「(米朝首脳会談の中止は)米景気には下向きリスクだ」		
	00:45	米 カプラン・ダラス連銀総裁「金利が中立金利に達した際、FRBは困難な議論に直面する」		

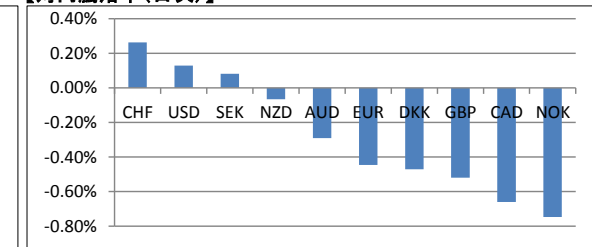
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
		特になし		

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	109.20—110.20	1.1600—1.1700	127.50—128.50

【マーケット・インプレッション】

今年度は例年に比べて政治問題が為替相場をより左右する状況であることに変わりはなく、先週末はユーロ圏においてイタリアでの次期政権を巡る不安定感や、スペインでは元側近が有罪判決を受けたラホイ首相に対する懸念が噴出しており、このような政治リスクを背景にユーロは年初来安値を更新している。円についてはやはり米朝首脳会談の行方が為替相場に色濃く影響しそうであり、シドニー時間に109円台後半までドルが買われているものの本日は英国・米国が休日、大きな動きは期待できない。

東京	東京時間のドル円は109.33レベルでオープン。トランプ米大統領より中止が宣告された米朝首脳会談について北朝鮮の高官からの米国との対話に前向きとのニュースが伝わり、日経平均と共にドル円は反発し一時109.74まで上昇した。一服後は109円台後半にて動意に乏しい展開。終盤は小緩み109.42レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、109.42レベルでオープン。米朝首脳会談中止後も北朝鮮が協議に前向きな姿勢を示したことから下げ渋ったが、イタリアに続いてスペインでも政治不安定化の懸念が燃え、リスク回避の円買いが次第に優勢となり、一時109.33まで小幅に下落。結局109.38レベルでNYに渡った。ユーロは、1.1703レベルでオープン。スペイン最大野・社会労働党がラホイ首相の不信任動議を準備していることが報じられ、総選挙の可能性が浮上。スペイン株が大幅安となり、ユーロも1.1662まで下落。ECB理事会メンバーのリーカー・フィンランド中銀総裁が「ECBは目標を上回るインフレ上昇を容認する必要がある」と緩和的政策の継続を示唆したことも上値を押さえ、1.1668レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	NY時間のドル円は109.38レベルでオープン。朝方は、米4月耐久財受注がヘッドラインが予想以上に悪化したものの、除輸送用機器が予想を上回ったことから、強弱混在の内容にドル円の反応は限定的に。しかしスペイン、イタリア国債利回りが上昇する動きを受け、リスク回避の円買いが再び優勢となり、109.11まで下落。その後は5月ミシガン大学消費者信頼感指数が予想をやや下回ったものの、ドル円の反応は限定的となる一方、週末を控え円が徐々に売り戻されたことからドル円はじり高で推移。一時109.57まで戻し、109.35レベルでクローズした。一方、独5月IFOが予想とほぼ一致したものの、スペイン最大の野党が、ラホイ首相への不信任動議を準備との報道を受け、イタリア国債に続きスペイン国債の金利が急伸する展開にユーロ売りが強まり、ユーロは1.1668レベルでNYオープン。朝方は一旦ショートカバーに1.1687まで戻すものの、イタリア、スペイン国債金利が上昇する動きを受けユーロ売りが強まり、1.1647まで反落する。午後は狭いレンジでの推移が続くが、終盤に掛けて米格付会社がイタリアの格下げが有り得るとの見解を示したことから、連休を控え、閑散な取引の中、再びユーロ売りが強まり、1.1646まで下落し、1.1652レベルでクローズした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなされるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当：加藤・鶴田